

第 章一スノーボード

国際スポーツプログラムとしてのスペシャルオリンピックススノーボード競技は、国際スキー連盟（FIS）のスノーボードのルールに従い行われるものとする。下記のスペシャルオリンピックス公式競技ルールには、全てのスペシャルオリンピックスアスリートのことをふまえて、FIS ルールの変更がなされているところがある。FIS のルールと矛盾する場合は、スペシャルオリンピックスの公式ルールが適用される。

セクション A：公式種目	. 1
セクション B：競技施設	. 1
セクション C：用具	. 1 - . 2
セクション D：役員	. 2 - . 3
セクション E：競技ルール	. 3 - . 5

セクション A - 公式種目

- 1 . スーパージャイアントスラローム (以下スーパーG) 上級
- 2 . ジャイアントスラローム 上級
- 3 . スラローム 上級
- 4 . スーパーG 中級
- 5 . ジャイアントスラローム 中級
- 6 . スラローム 中級
- 7 . スーパーG 初級
- 8 . ジャイアントスラローム 初級
- 9 . スラローム 初級

セクション B - 競技施設

- 1 . スロープは、長さ、幅、難度において競技者の能力に適しなければならない。競技および練習を行う会場は、安全でなければならない。
- 2 . 可能な限り、リフトは競技および練習を行う会場または近接した場所にあるのが望ましい。
- 3 . すべての競技のゴール地点には、アスリートが安全に止まるのに十分な場所を確保するものとする。可能な限り、ゴール地点をフェンスで囲って、観客を会場から離すようにする。(次ページのゴール地点図を参照)。

- 4 .ウォーミングアップ用の施設は、スロープと駐車場からすぐ行かれるところになければならない。この施設は、悪天候の場合に、スペシャルオリンピックス関係者一同を収容するのに十分な広さを持たなければならない。ボランティアの登録は、この施設内にて行う。表彰式は、悪天候の場合のみ、この施設内にて行う。
- 5 .スキー場の駐車場には、大会ボランティア、スペシャルオリンピックススタッフ、コーチ、およびアスリートに十分な駐車スペースを確保しなければならない。緊急用の車のアクセスができるのは不可欠である。
- 6 . 補助施設
 - a . スノーボード収容倉庫
 - b . スノーボード準備所
 - c . スペシャルオリンピックスの備品置き場
 - d . スノーボードレンタル場
 - e . コーチミーティング場
 - f . 以下のことに使用する屋根付きの施設
 - 1) 審判の協議
 - 2) タイムの測定、計算
 - 3) スタート地点

セクション C - 用具

- 1 . 公式練習および競技において、全種目、レベルのすべての前走者とアスリートは、アルペンスキーレース用に（国際スキー連盟、FIS）認定のヘルメット着用が必要である。
- 2 . スキー場は、十分な雪の整備と会場の準備を全種目に対して行う。雪の状態の悪化に備えて、コース整備の道具（熊手、シャベル、雪を固める薬品）を使用する。これらはスキー場が準備する。
- 3 . スラローム、ジャイアントスラローム、およびスーパーGのゲートは、外側のポールと回転する側の短いポールからなる。パネルをゲート下部の雪面上に立てなければならない。パネルの短い側または回転する側は、ベルクロ（マジックテープ）または他の適当なもので括り付けて、ポールから取り外しできるようにしなければならない。全ての種目で、パネルを使用する。スタートゲートの次の第1ゲートは常に赤色でなければなく、右から左へのターンから始まる。

- 4 . オーガーを利用して、コース設置者はポールを雪中に設置する。
- 5 . レース会場全体を適切に保護する。可能な限り、安全面の理由により、コースをフェンスで囲って一般のスキーヤーやスノーボーダーから引き離し、スキー禁止エリアとしなければならない。フェンスを設置し、保護を行うのはスキー場の責任とする。
- 6 . スタートとゴールの横断幕を使用するものとする。
- 7 . 可能な限り、電子タイム計測器 (バックアップシステム付) を使用する。これが不可能な場合、手に持てるタイプの計測器でタイム計測を行う。ゲート審判は、2分間ルールのタイムを計測する責任がある。
- 8 . 拡声器を次のことに使用する。
 - a . 競技の開始と結果を知らせる。
 - b . 競技種目を知らせる。
- 9 . 次のインフォメーション・ボードを使用する。
 - a . スタート順ボード - スタート地点に設置し、アスリートのスタート順、ゼッケンナンバー、およびその他の関連情報を表示する。
 - b . 結果ボード - ゴール地点の外に設置し、試合結果を表示する。アスリートの名前、スタート順、およびゼッケンナンバーを載せる。
 - c . 一般情報ボード - レース会場、表彰式場、および宿泊施設のいずれからも近い場所に設置し、一般情報と告知を表示する。
- 10 . スキー場は、スキーパトロール隊を配備して、あらゆる医療要求に応え、種目の進行を監督する。医療ボランティアが参加する場合は、スキー場が医療進行を統括しなければならない。
- 11 . スノーボード用具の修理道具は、資格を持つ用具係が競技の間使用する。
- 12 . 競技会場、医療係、ボランティア係、および各種目の審判員をつなぐコミュニケーションシステムを用意しなければならない。
- 13 . 各競技および各種目の審判員を区別すると便利であり、これは不可欠でもある。

主催者側が、腕章、ウィンドブレーカー、または帽子などを用いた何れかの区別を行う。

14. スノーボード競技のコースは、アルペンスキー競技とは別の会場に設置しなければならない。これが不可能な場合、スノーボードのゲートは、アルペンジャイアントスラロームゲートかダウンヒルゲートに代えて使用する。

セクション D—役員

1. スノーボード審判

- a. 技術係
- b. レフェリー
- c. レース委員長
- d. コース委員長
- e. スタートレフェリー
- f. ゴールレフェリー
- g. アシスタントレフェリー

2. 審判以外の役員

- a. ゲート審判委員長
- b. タイム計測および計算委員長
- c. レース委員長補佐
- d. 医療委員長
- e. インフォメーション委員長
- f. レース用具委員長
- g. コース設置係
- h. コース設置係アシスタント

3. レースの補助ボランティア役員

- a. ゲート審判
- b. 前走者
- c. コース係(世話係)
- d. コース係
- e. タイム計測および計算係
- f. 医療係またはスキーパトロール
- g. 走者
- h. スタートおよびゴールレフェリーのアシスタント

i . アナウンサー

セクション E - 競技ルール

1 . ゼネラルルールおよびスペシャルオリンピックス適用ルール

- a . FIS ルールによって、スペシャルオリンピックのアスリートおよび競技指導者は、世界規模で標準化されたスノーボード競技を行うことができる。FIS ルールは、高い能力を持ったアスリートに対してのみ、競技を基準化するために書かれていることを忘れてはならない。スペシャルオリンピックのスノーボードアスリートのうち、そのような高いレベルの技術を持っているのは少数である。それゆえに、スペシャルオリンピックのアスリートを、各自の能力に適したスノーボードコースで評価しなければならない。FIS のスノーボード規則（ゲートの数、垂直ゲートの組み合わせ、垂直斜面）では、ほとんどの場合、能力が低いアスリートにとっては急すぎて長すぎる地形のコースとなっている。スペシャルオリンピックのスノーボード競技コースは、アスリートに合わせて FIS のルールを修正してきた。コース設置の規則、すなわち、ゲートの数、折り返し ポールから折り返し ポールまでの距離、スタート地点とゴール地点に必要なものは、主として FIS ルールと同じにする。公式スペシャルオリンピックス冬季スポーツルールで述べているように、スペシャルオリンピックス特有のスノーボードの修正ルールをスペシャルオリンピックス適用ルールとして、FIS ルールの代わりに適用する。
- b . ディビジョニング
- 1) 上級、中級、初級、のアスリートは、能力に適した修正版ジャイアントスラロームのコースを 2 回走行する。速い方のタイムを競技のディビジョニングに使用する。レース役員のスケジュールが許すならば、ディビジョニングのタイムトライアルを、スラローム、ジャイアントスラローム、およびスーパー-G に対して実施してもよい。各ディビジョンの競技の 1 回目では、最もディビジョニングタイムの速いアスリートが最初にスタートし、最もタイムの遅いアスリートが最後にスタートする。
- c . スタート地点：スタート地点は平坦にして、アスリートがリラックスした準備姿勢でスタートに立てるようにする。スタート地点に簡単に辿りつくことができるようにし、一般のスキーヤーの混雑からスタート地点を守らなければならない。
- d . 2 分間ルール：競技中、アスリートが転倒したりゴールを見失ったりして、コ

ーラインの大体の方向から反れた場合、脱線してからコースに再び戻るまでの時間は2分間である。この2分間の制限時間を厳守できないか、またはどんな手助けでも受け取ったアスリートは、失格となる。失格は、違反した場合に最も近いゲートに配備されたゲート審判がゲートカードを挙げて決まる。ゲート審判は2分間を計測する責任がある。

- e . スタート命令 - 各自の能力レベルに適した、スペシャルオリンピックスのスノーボード全種目に対して、スタート命令を次のように行う。「5、4、3、2、1、GO！」アスリートの片足がスタートラインを越えるか、または電気時計が動き始めたら、計測が始まる。
- f . ゲートライン：ゲートラインは、折り返しポールによって決まる。
- g . 正しい通過：ゲートは、アスリートのスノーボードの先端と両足がゲートラインを過ぎたときに、正しく通過したことになる。スタートおよびゴールラインも同様である。
- h . アスリートのスノーボードの先端と両足がゲートラインを通過する前に、アスリートが垂直に立てられたポールを抜き取る種目では、スノーボードの先端と両足がゲートの元の位置を通過しなければならない。

2. コース仕様

種目	ゲートの数	高さ	コースの幅	クラス
a. 初級者用のコース設計				
スラローム	5~15	15~50m	40m	初級者
ジャイアントスラローム	5~15	20~70m	40m	初級者
スーパーG.	5~12	25~70m	40m	初級者
b. 中級者用のコース設計				
スラローム	15~30	30~100m	40m	初・中級者
ジャイアントスラローム	15~30	50~150m	40m	初・中級者
スーパーG.	10~20	50~200m	40m	初・中級者
c. 上級者用のコース設計				
スラローム	20~45	60~200m	40m	中級者
ジャイアントスラローム	20~40	100~300m	40m	中級者
スーパーG.	15~35	150~350m	40m	中級者

3. 種目の修正

a. ジャイアントスラロームおよびスラローム

- 1) ジャイアントスラロームおよびスラロームのレースでは、2回走行する。合計タイムで審査結果が決まる。
- 2) 2回目の走行のためのコース整備は、委員会が決定する。
- 3) ジャイアントスラロームおよびスラローム種目では、アスリートの1回目の滑走タイムが、ディビジョン内での2回目の滑走順を決める。1回目の滑走タイムが最も遅いアスリートが最初にスタートし、最も速いアスリートが最後にスタートする。失格者は2回目の滑走を行ってもよいが、ディビジョンの最後に滑走する。

b. スーパージャイアントスラローム

- 1) 競技役員は、スーパーGのコースをアスリートの能力レベルに合わせて設定する。
- 2) すべてのアスリートは、同じコースをレース前に1回練習滑走する。
- 3) レース役員は、練習滑走を計測する方が望ましい。これはレースのスタート順序に何ら関係しない。
- 4) スーパーGのレースは、1回滑走である。

<スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムを実施するに当たっての留意点>

スペシャルオリンピックスの正式なスポーツプログラムとして活動する場合には、事前に最寄りの地区組織事務局、又はスペシャルオリンピックス日本本部事務局にご連絡ください。